

太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第13号 平成18年10月

定礎式を行いました

太田川ダム本体工事は、3月にコンクリート工事に着手してから順調に工事が進み、堤内に設ける仮排水路、取水放流管、管理用のトンネルなどの構造物工事及び基礎岩着工事が一段落した10月1日（日）に定礎式を執り行いました。

▼ 礎石の搬入



石川知事、柳澤厚生労働大臣、国土交通省、県議会議員、地権者、地元関係者及び工事関係者など約300人が出席し、約16mの高さまで立ち上がったコンクリート上で、礎石の埋納を中心に工事の安全と悠久の堅固を祈願しました。



10月9日現在、本体コンクリート工事は、完成時の高さ70mのうち約16mまで打ちあがりました。使用したコンクリートは、全体24万m³のうち約18%の4万3千m³になります。

本号の内容

- 定礎式を開催
- 本体コンクリート工事について
- 企業局からのお知らせ
- 環境対策連絡会を開催
- 親と子のダム見学会を開催

石川知事は式辞で「異常気象で各地に大きな被害が出ている。1日も早くダムが完成し、地域住民の安心・安全が確保されることを祈願する」と述べました。



第9回環境対策連絡会を開催しました（平成18年6月9日）

学識経験者、地元、行政、工事関係者で構成する連絡会で、環境対策が確実に行われていることを確認し、今後の計画についても了承されました。

- [内容]
- ・猛禽類、貴重植物のモニタリング状況と環境対策（騒音対策・夜間照明対策など）の報告
 - ・今後の工事とモニタリングの計画、工事における環境対策実施計画の報告
 - ・本体コンクリート工事及び濁水処理設備を視察し、実施状況を確認



▲現地視察の様子



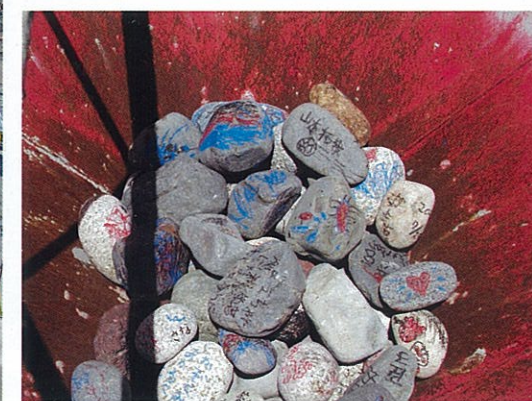
▲会議の様子

親と子のダム見学会を開催しました（平成18年7月27日）

7月27日に「第17回親と子のダム見学会」を開催しました。参加した親子82名はダム工事現場まで降り、ダム本体工事の様子など熱心に見学しました。午後からは太田川の清流で水遊びをし、また、竹を利用して水鉄砲や風鈴を工作して自然を満喫しました。



▼夢や希望をクレヨンで石に書き込み、ダム本体に納められました。



内容についてご質問等 ございましたら...

静岡県太田川ダム建設事務所
〒437-0215 静岡県周知郡森町森1582-1
TEL:0538 (85) 2025 FAX:0538 (85) 0885
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/~desaki/otagawa/index.html>
e-mail:otagawa-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県企業局水道室（水道・水質について）
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL:054 (221) 2167 FAX:054 (251) 5381



太田川ダムを見学 してみませんか？

地域を守るダムが、どのように造られていくのか、是非、現場でご覧ください

申し込み方法

まずは、お電話でお申し込みください。
太田川ダム建設事務所 工事課企画調査係

電話 **0538(85)2025**

※平日に10名以上の団体で受け付けています。

静岡県企業局からのお知らせ

遠州水道増設事業は平成21年4月の一部給水開始を目指して順調に工事が進んでいます。

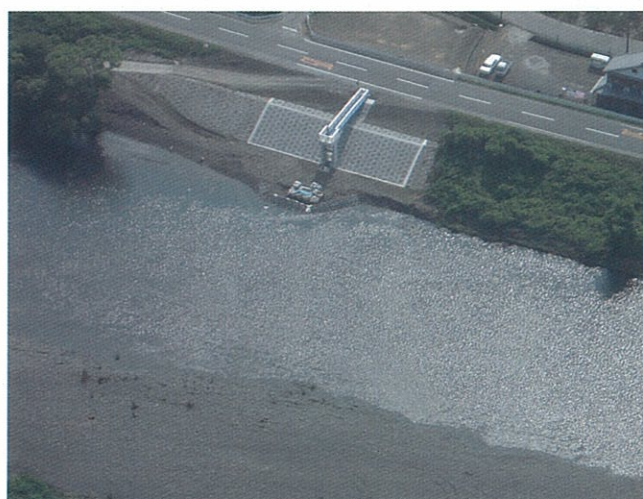
平成18年度末までの進捗率(見込み)

- ・水源開発：77.9%
- ・広域化：58.2%
- ・事業全体：61.8%

遠州水道増設事業

遠州水道の増設事業は、水道水の需要が増加する遠州地域の4市2町に対して、既設(天竜川と都田川から取水)の水道用水224,700m³/日に加え、太田川等を水源とする67,400m³/日を供給するための事業です。

この、太田川からの取水により、昨年夏のような**渇水時**や**地震時**のような異常時にも対応できる水源の多元化が可能となり、「より安定的な水道用水の供給」が可能となります。

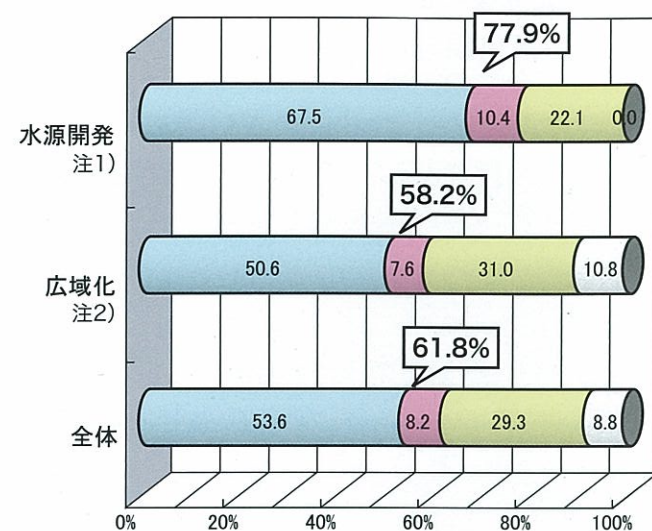


森取水場 建設中



勾坂調整池 平成18年1月完成

遠州水道増設事業の水道施設設備状況



□平成17年度末 □平成18年度 □平成20年度末 □平成21年度以降

注1) 水源開発：太田川ダム建設の負担金

注2) 広域化：管路施設・浄水施設設備費



新寺谷浄水場管理本館 建設中



森取水ポンプ場 建設中

定礎式 (平成18年10月1日)



オープニングセレモニー

開式に先立ち地元摩耶保育園児が元気な常盤太鼓とかわいらしい踊りで祝賀ムードを盛り上げてくれました。



礎石の鎮定

石川知事、国土交通大臣(代理)、柳澤厚生労働大臣、村松森町長により礎石がモルタルで固定されました。



記念石の投入



礎石の埋納

礎石はコンクリートで無事埋納されました。バケツからコンクリートが放出されると、出席者全員で万歳が三唱され、参加した園児が風船を放って、無事の完成を祈念しました。

<コンクリート骨材の一部変更について>

太田川ダムのコンクリート骨材は、貯水池上流端に位置する原石山から砂質岩を主体とする原石を採取し、貯水地内に設けた骨材製造設備で、所要の粒度と品質を備えた粗骨材(粒径150~5mmの碎石)と細骨材(粒径5mm以下の砂)に調整して供給するものです。骨材製造設備の試運転において、製造した骨材の一部が貯蔵中に乾燥して割れるなどしたため、専門機関の意見を聞き、当該骨材で製造したコンクリートを用いて湿潤と乾燥を繰り返す試験を行ったところ、頁岩のひび割れ等が原因と考えられる強度の低下が見られたため、湿潤乾燥等の気象条件を受ける外部コンクリートの骨材について、より安全で長期にわたり安定した品質を確保するため購入骨材に変更しました。(詳細については太田川ダム建設事務所HPに掲載していますのでご覧ください。)これに伴い、平成18年3月より天竜川からダムサイトにかけて、主に森町内の広域農道と県道大河内森線を約20台/日のダンプトラックが通行しています。安全運転に留意しますのでご協力よろしくお願いします。

<ダム本体断面図>

